

はじめに

(本プロジェクトのきっかけ)

- 個人情報保護法が平成17年に施行されて以来10年以上が経過した。当院では保存年数が終了した機密書類に関して、機密書類専門廃棄物処理業者と機密書類の取扱いにかかる厳密な契約を交わした上で廃棄処分を行っていた。
- 然しながら、通常の一般廃棄物処理料と比較し高額である為、どうにかして処理コストの圧縮を図る事ができないかと、価格交渉や処理方法の妥当性の検討等、多角的なアプローチを展開していた。
- そのさなか、仙台病院は『東日本大震災』に遭う事となる。

はじめに

(本プロジェクトのきっかけ)

- 『東日本大震災』



《《 震災時の仙台病院のようす 》》

はじめに

(本プロジェクトのきっかけ)

- 『東日本大震災』以降、仙台市にあっては、震災後暫く経過しても一向にゴミ減量が図られず、市営処理場が能力オーバー寸前の状態に至った事に危機感を抱き、市を挙げての『100万人のゴミ減量大作戦』キャンペーンを展開。ゴミ減量の決め手として“分別リサイクル”を掲げ、当院にもその協力要請があった。
- これをきっかけに当院では様々な業者と交渉し、
 - ①高コスト体質の“機密書類処理料の低廉”化
 - ②収益向上に資する“買い取り体制の構築による機密書類処理量の軽減”化
 - ③仙台市要請の“ゴミ減量化への協力”という、いわば『**積極的関与による収益性向上効果**』を当チームが狙う事とした。

収益性向上策 ①

高コスト体質の“機密書類処理料の低減”化

- 【従前】 機密書類処理料;20円/kg(300kg超過分は25円/kg)、専用処理箱代;100円/箱、およびトラック収集運搬料2,000円/台、が発生していた。
➡この為なるべく“ためてから依頼”しており、また施錠保管の倉庫が必要であった。
- 複数の機密書類専門廃棄物処理業者と価格交渉や条件交渉を行った。
- 【改善後】 機密書類処理料;すべて15円/kg、箱代;0円(医薬品等の段ボール箱でも可)、およびトラック収集運搬料0円、で交渉成立した。
➡毎月1回の定期便および臨時増便が可能になり、“ためる必要が無い”為に倉庫が不要となった。(収集日まで各自の部署保管で充分対応可能)

※注) 医事課の点検用レセプトや薬剤部の処方箋、年度毎の保存期間終了時の廃棄文書等、大量かつ一気に排出する場合に限り処理依頼。



収益性向上策 ②

“買取り体制の構築”による機密書類処理量の軽減化

- 買取り業者との下交渉では、シュレッダー裁断後のMixペーパー化したものであれば、機密書類でも買取り対象である事が判明する。
- 事務室付近に業務用シュレッダーを3台用意。(経理課前、健管センター前及び医事課内)、ほかに各病棟を中心に家庭用シュレッダーを用意した上で、“Mixペーパーは有価買取りである”事を広報周知し、仙台病院職員のコスト意識に訴求した。
- 当初は汎用品を使用していた紙リサイクル回収袋を、現在では啓蒙度を高める文書を印刷したオリジナル袋に模様替えしている。

【シュレッダー活用事例】

Ns.ステーションに配置している事例です（各病棟等に配置）。
業務用機としては、経理課前、健管センター前および
医事課に設置しています。

（各病棟等は家庭用汎用機で充分
対応できており、1台 1万円～
2万円程度と非常に安価です）



【紙リサイクル用 回収袋】

当初は汎用品を使用していた回収袋ですが、最近に
なって回収袋もオリジナルに変更し、より啓蒙の度合
いを高めております。

（オリジナル袋に変更しても、
コストはさほど変わりません）



収益性向上策 ③-1

仙台市要請の“ゴミ減量化への協力”

- 仙台市への協力要請に対応する為には、
“分別すればリサイクルとして資源になるものがある”
ということ、病院利用者全体へ啓蒙する事が必要と考えた。
- 先ずは仙台市廃棄物担当課へ出向き、趣旨説明の上、市が作成のリサイクル啓蒙ポスターの提供協力を頂き、当院用アレンジした上で院内掲示した。
- 回収箱区分も単純化し、一般利用者も協力しやすい体制を構築した。
➔ ①一般ゴミ(廃棄)、②PETボトル、③缶・ビン、④紙リサイクル、
と4種類まで絞り、この区分で回収対応が可能な業者を選定した。

【リサイクル啓蒙ポスター】

仙台市よりポスターの提供協力を頂いており、これらのツールで楽しく参加出来る雰囲気を醸成しています。



【回収箱 設置イメージ】

病院利用者の全てが協力しやすい区分にしています。

左より、赤(一般ゴミ)・黄(PET)・緑(缶ビン)・青(新聞等の紙類)とし、イメージカラーを全館統一にしています。



【紙リサイクル袋 回収イメージ】

一般廃棄物回収時に分別して回収します。



【リサイクル物 保管場所】

契約業者が毎日回収しています。



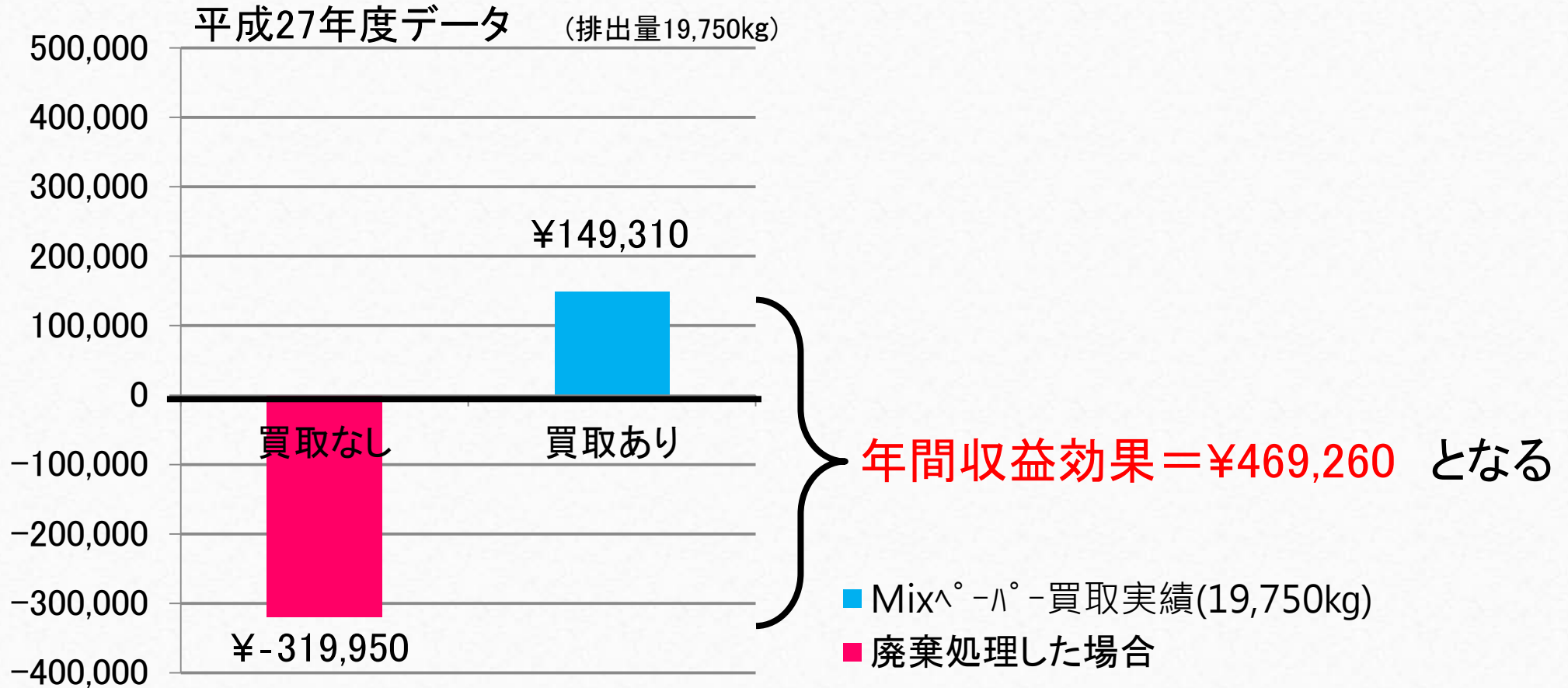
収益性向上策 ③-2

仙台市要請の“ゴミ減量化への協力”

- 回収した資源物を有価買取りできる業者を数社見つけ出し、価格交渉並びに条件交渉を丁寧に行った。
収集→運搬→処理工場の全てを視察し、問題が無いと判断された業者のみと買取り契約交渉を進めた。
- 最終的に、Mixペーパー・段ボール・新聞・雑誌・缶ビン・PETボトルの買取額全体を通して、当院に有利な条件を提示した業者と契約した。
➡結果的に、一般廃棄物の大幅な減量につながった。

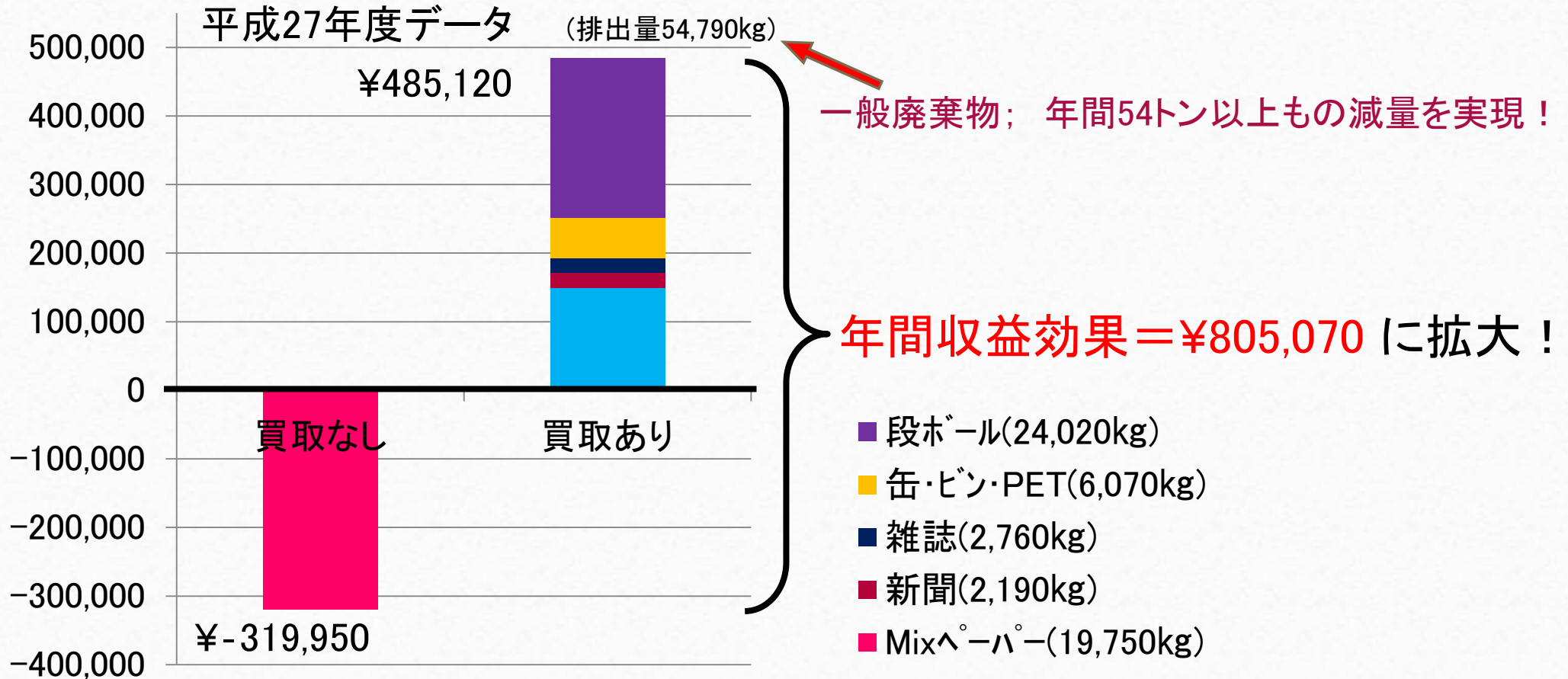
データ A

“機密書類として廃棄した場合”と“Mixペーパー化し有価物にした場合”との違い



データ B

さらに“リサイクル買取り範囲を拡大”した結果・・・



注) 一般廃棄物処理料は年間固定額契約の為、今回は当該減額効果分を考慮しない事とする



結 果

所期の目的であった3項目の課題

- ①“機密書類処理料の低廉”化、
- ②“買い取り体制の構築による機密書類処理量の軽減”化、
- ③仙台市要請の“ゴミ減量化への協力”

これらの解決を、**収益増加と社会的貢献(≒CSR活動)双方をクリアするかたちで、ある程度果たせたのではないだろうか。**

➡ 今後の方向性＝院内広報の強化により、更なる収益増加を見込める。



まとめ

- やり方ひとつで『不要』と思われていたモノが『有価物』になる事がわかった。
- 軌道にのれば、無理なくサステナビリティ化できる事例である為、このスキームが全国のJCHO病院の参考になればと思い、情報提供させていただく。



廃棄機密書類を活用した 収益増加プロジェクト

Supported by 仙台病院 総務企画課&経理課チーム

(総務企画課) 鈴木政道 永野隆一

(経理課) 松坂貴之 佐々木正典

(資料提供協力: 仙台市環境局)

